

2015 - 16 年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Rotary International
国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ベテランと若手の団結で
品格あるロータリー活動を!

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：上田 郁生
●幹 事：上山 惣太
●会報委員長：堀内 伸也

今週のプログラム

第2094回例会

2015~16年度 最終例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「我等の生業」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 皆出席祝 33年 鈴木 洋会員
2年 中澤 剛会員
1年 上山 惣太会員
- ⑤ 2015~16年度下半期HC皆出席祝
石川 義一会員
- ⑥ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑦ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑧ 卓話 「本年の回顧」
上田 郁生会長・上山 惣太幹事
- ⑨ 閉会 点鐘

*6/24(金) 例会後

社会奉仕事業 アール・ブリュット展覧会へ
参加ため、プリズムホールへ

来週の予定

第2095回例会 7月1日(金)

2016~17年度 初例会

★例会前：7月度定例理事会

☆卓話「本年度の方針」

2016~17年度会長 中澤 剛

☆7月誕生月祝 上田会員、中澤夫人、堀内夫人

☆7月結婚記念日祝 堀内会員

前週の例会記録

2016年6月17日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2093回	28名	18名	72.0%	出席義務免除 4名(出1)
第2091回	28名	20名	76.9%	補 填 2名

ニコニコ箱

- 安田さん、卓話よろしくお願ひします。
上田 郁生会員
- 安田さん卓話ご苦労様です。
・満中院法要無事に終わりました。皆様ありがとうございました。
奥田 長二会員
- クラブと四輪会、2週続きのゴルフコンペ、ケガなく楽しみました。
山田 哲男会員
- 安田会員の卓話楽しみにしています。
森下 慶治会員
- 安田会員の卓話、御苦労様です。
桑田 タア子会員
- 安田さん、急な卓話ご苦労様です。鈴木 洋会員
- 安田さんの卓話「特許について」楽しみにしていました。
池本 繁喜会員

★例会場：(株)西武百貨店八尾店8階バンケットルーム TEL:072(997)0111 内線5580 ★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 西武百貨店内 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●安田さん、卓話宜しく。 浦本 修三会員

●安田さん、卓話よろしくお願ひします。

大橋 秀造会員

●**今回合計** 11,000 円

●**累計** 751,794 円

会長の時間

梅雨入りしてから 2 週間ほど経ちますが、雨もそれほど多くなく、梅雨らしい気候ではありません。気候学的には、東アジアでは春夏秋冬の四季に梅雨を加えた五季がはっきりと現われ、さらに日本だけに限ると五季に加え秋雨が入り六季になるそうです。梅雨時の雨という「雨足が強くなく、しとしとと降り曇天が続く。」というイメージがありますが、これは東日本でのことで、西日本では強い雨が降り、雨量も年間雨量の約半分が降り、東日本より平均して 200mm 程度多いそうです。

語源は梅の実の熟す時期から梅雨と言われるのが一般的ですが、他に湿度が高くカビが発生しやすいことから黴の雨と書いてバイウと読むという説もあります。別名は旧暦五月に降るから五月雨（さみだれ）と呼ばれ、このことから長くいたら続くことを五月雨式というようになったと言われています。

梅雨時期になると体調不良を訴える人が多く、アンケートによると女性の半数以上がこの時期になると不調を感じるようです。これは低気圧が続くと体を休ませる副交感神経が働き、だるさを感じたり、やる気が出なくなったりしてしまい、さらに「ヒスタミン」が分泌され肩こりや頭痛が出てくるようです。予防法としては、起きている間は体を動かし交感神経を十分に働かせ、夜休んでいる間は副交感神経が働くようにすることだそうです。

梅雨が終わると暑い夏がやってきます。今年は猛暑になるだろうと予報も出ています。夏を迎える前に体調を崩さないように、体調管理には充分気をつけ

ていただきたいと思います。

幹事報告

①次週は例会後、アール・ブリュット展覧会のため、プリズムホールに行きますので、赤いクラブブルゾンの御持参をお忘れのないようお願いいたします。

卓話



「特許について」

安田 憲司会員

今回の私の卓話では、詳しい法律は私も知らないので特許事務所任せですが、実際に経験した特許申請時でのトラブル体験談をお話しさせていただきます。

まあ、どちらかと言えば大半が失敗談ばかりですが？

まず、特許とは、有用な発明をなした発明者またはその承継人に対し、その発明の公開の代償として、一定期間、その発明を独占的に使用しうる権利（特許権）を国が付与するものである。

特許権は、無体物（物ではない、形のないもの）である発明に排他的支配権を設定することから、知的財産権のひとつとされる。日本の特許法においては、特許制度は、特許権によって発明の保護と利用を図ることにより、発明を奨励し、また産業の発達に寄与することを目的とされている（特許法 1 条）。そこで法定の特許存続期間、日本では出願をした日から 20 年をすぎると（特許法第 67 条）、実施が自由解放される仕組みとなっている。

弊社は、アメリカ特許 5 件と国内特許約 20 件登録していますし（台湾特許 1 件は取得後破棄）、また国内・アメリカ・国際特許（PCT）等を毎

年3~4件位、申請しております。

私が特許に興味を持ったのは約40年前に伸線関連の仕事で当時、メッキ線を巻取るのに、業界用語で横巻と言う方法でしたがこれでは一束最大200キログラム位しか製品が出来ません。

それを一気にキャリアで約1000キロ直接巻き取る画期的技術を考案しましたが、その他社が勝手に特許申請して、その情報を流した知合はその会社から協同特許料毎月50万円を貰っており、非常に腹が立ったこともありました。

それから、2年位後ですが画期的な高速ヘッター（従来の2倍以上高速のねじ製造機）を考案しましたが、これは名古屋の大手メーカーが手掛けたので、試作しただけで売れず大損し親父に大目玉を食らいましたが、この金型技術が、その後の会社経営に大変役に立ったことはあとで気が付きます。

また、この特殊金型技術も、業界の大手メーカーが目をつけ勝手に特許申請したことは、業界の古い人達は良く知っているところです。

このころは親父が社長をしていましたので、親父としては「そんな紙切れに高額な資金を何で払わなあかんねん、辞めとけ。」で、終わりでしたが、31年前に私が代表になってからは、新技術については、出来るだけ特許申請し権利化することを企業経営の柱として、現在に至っております。

また平成11年（1999年）10月に、現在のユタカ発展に大きく寄与した装置が以前、研究した特殊金型技術で制作した検査装置で、ITの心臓部CPU端子検査装置として、韓国のサムスン・LGや、アメリカのIT企業インテルよりCPUをOEM製造していた台湾メーカーに採用され、当時マスコミ等にも大々的に取り上げられたこともありましたが、それが従業員7名の零細企業だった弊社を現役総理の小淵 恵三氏が視察に来られ

たということです。

製造業では、特許の権利があれば、大企業でも参入が困難となり、中小企業でも企業経営に絶大な効果を発揮します。

ゆえにこの業界では現時点では弊社が国内トップメーカーとなっておりますが、油断すれば、数年でその地位は危ういものになるので、常に新技術を見つけ日々実用化することを最優先で取り組んでいます。

それから平成21年（2009年）10月に、ドイツ、シュツガルトねじ展示会で台湾のメーカーが「全周検査可能な装置を開発しました、EUで特許取りました、世界初の技術です。」とPRしており、その製品を見たら、弊社特許技術で、平成20年（2008年）9月に出願し、平成24年（2012年）6月日本国特許登録「特許第5017628号」を申請しており、ドイツの資料を取り寄せて翻訳したら、「ユタカを基本に考えた。」と記載しており、「ふざけるな。」と、たいへん悔しい思いをしたこともありました。

これは、平成26年（2014年）6月29日放送の、NHK「新ルソンの壺」でも、失敗談として放送されました。

当時、諸事情で全周検査特許では国内特許申請しか出来ませんでしたでしたが、昨年世界業界初新技術のマルチテーブルについては、国内はもとより、PCT（国際特許）・アメリカ特許を現在申請中で、この装置は国内で大変売れており、8月にはアメリカにも出荷しますので、海外でも大反響になると思われます。

今の日本は、一見平和ですがその裏では各国の凄い技術権利化戦争がある事、少しでも認識していただければ、うれしく思います。

例では、先日お会いした、ノーベル賞受賞された京都大学山中教授・IPS細胞の周辺特許は世界的に

出されておりますが、元理科学研究所の小保方研究員が考案したスタップ細胞については、皆さんもご存知の通り無いとのことで、早稲田の論文と基礎特許は取り下げたような形になった途端、アメリカのハーバード大学が、これ幸いと多数のスタップ現象特許を申請していることがわかり、問題になっている事、これも何か裏がありそうと、私は思っております。

まあ何十兆円と言う莫大な利権が絡めば、各国の国策で国際的にも大問題になる事が、理解できると思いますが？

私のポリシーは、「技術は正直、ごまかしは不可能。」で、これからも常に役立つ新技術を世に出していきたいと思っておりますので、応援していただければ幸いに存じます。

以上、私の卓話とさせていただきます。本日は、御清聴、誠にありがとうございました。

会長・副会長・幹事杯ゴルフコンペ報告

親睦活動委員長代理 堀内 伸也

本年最後の親睦活動『会長・副会長・幹事杯 コンペ』を、ご参加頂きました会員皆様に大変お世話になり無事に終えることができました。

来年は長尾親睦委員長ですので、親睦を深められる企画を是非お願いしたいと思います。



優勝・会長賞
堀内会員



準優勝・副会長賞
高岡会員



3位・幹事杯
高橋会員

Rotary 

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY